



会報

51号

デザイン 池田満寿夫

ながめ

発行人 峯村清志

編集長 井澤一幸

9月末現在賛助会員数 長野地区 547人 県全体 2,827人

2018 信州ねんりんピック

in 佐久会場

30回を数える、「2018 信州ねんりんピック」が佐久市コスモホールで開かれ、当日あいにくの雨模様にもかかわらず、県下各地から大勢の賛助会員他が詰めかけました。

会場では「信州御代田龍神太鼓保存会」による龍神太鼓「からっ風」で幕を開け、来賓あいさつに続き各種表彰があり、午後からは賛助会員グループよるステージ発表が行われシニアの元気な練習成果が披露されました。2階の会場では「高齢者作品展」があり、みな力作ぞろいに関心を寄せていました。





銭太鼓を楽しむ会



コカリナ木霊



高齢者作品展



健康長寿で

ぴんころ地蔵

おまいりに来て下さる老若男女の「元気で長生きし（ぴんぴん）寝込まず楽に大往生（ころり）したい」という心から願いを成修して差し上げたいと・・・成田さん薬師寺の参道入り口で見守っています。「拜んでくれてありがとう」

平成 15 年 9 月「成田山薬師寺」参道に建立

朝からの雨降り、ついには一日あいにくの天気。長野地区賛助会グループ 41 名はバスで、他の「IT・S の会」5 名は個別に参加となりました。会場入り口では、プルーン発祥の地（知らなかった）とのことで販売がされて試食もでき、思わず 1 つ 2 つと手が伸び、ついには購入となりました。

夏休みこども体験教室「おじいちゃん・おばあちゃんと遊ぼう」に出店参加

7月26日（木） 長野県庁講堂

毎年恒例の「夏休みこども体験教室」と題して、県庁見学イベントに賛助会「人生二毛作」ブースに午前3グループ（花咲かせよう会・万年青の会・昔あそび）、午後3グループ（IT・Sの会・シニア38書道・芽ぶきの縁側クラブ）の計6グループが出店参加。会場（県庁講堂）には、沢山のブースが並び満杯の状態。二毛作ブースには子ども達が大勢詰めかけ、教える先生方が悪戦苦闘していましたが、出来上がった作品に喜ぶ子どもの顔を見てほっとする等、グループの先生方は汗だくの忙しい時間を過ごし終了しました。

今後の課題として残るのはブースがあまりにも狭く、グループの出店数等を再検討する必要があるように感じました。ご協力いただいた役員・講師先生方お疲れさまでした。



花咲かせよう会



IT・Sの会「パソコンでお絵かき」



グループ活動紹介

あじさいの会を立ち上げて 会長 倉島 清志

美女のフラダンサー一人に武骨な男性三人がスカートをはき、レイを首にかけ脇を固める。それを見てみんなが大笑い。

シニア大四十期生として、九名が「絆で築くふれあいリレー」をキヤッチコピーに、ダンス・歌に健康体操を生かし高齢者も一緒に楽しく活動できる場を模索しました。そこに人生二毛作劇場実践者から学ぶ機会に、オレンジカフェ「いなばサロン」より活動の場のお誘いを受けることになりました。

在学中は計十二回の活動を通じ、元気・パワーそして教養溢れる先輩方々と触れ合うことにより、こちらが逆に元気と勇気を頂き活動の楽しさを知ることができました。

活動を通じ仲間との弾む会話は同じ志を確かめ合い絆を深めあう一体感が生まれる場となりました。

長寿社会に健康と生き甲斐をもって暮らせる居場所に貢献したいと「色とりどりに変わるアジサイの花」のように特技と持ち味を生かし、ボランティア活動を続けようとグループを立ち上げました。

すでに四月より五回の活動を終えましたが、活動場所が都合で閉所となり、今後の活動の場所探しとなつてしまいました。

現在は先輩賛助会「いきいき21」の皆様にお力をいただき新たな活動の場を探しています。

どうかほかの賛助会のみなさま方にも情報を頂ければ幸いです。どうかよろしくお願ひします。



古本回収所を開設します

ご不要になりました古本を寄付金に変えて、被災地陸前高田市図書館の充実にご協力ください。

記

- 1 日 時 平成30年10月19日(金) (賛助会員の集い)
午前10時～15時30分
- 2 場 所 県社会福祉総合センター 3階 会場にて
- 3 注 意 点 裏表紙に ISBN コード入りの本に限らせて頂きます。



◎ 毎月第4木曜日、午前10時～12時まで長野市権堂「イトーヨーカドー」前の「市民交流センター」でも開設しています、どうかこちらもご利用ください。